

戦 評

大会名	平成26年度第22回岩手県中学校春季バレーボール大会
-----	----------------------------

女子決勝

会場； 二戸市総合スポーツセンター

主審； 女鹿口 孝

副審； 澤 田 力

雫石 2 { 25 - 19
25 - 20 } 0 大船渡・第一

試合時間 時間 45分

戦 評

第1セット、両チームのエース同士の打ち合いとなるが、雫石は負けずにレシーブで拾い上げ、要所を1番菅原、5番古里の両サウスポーが決める得意の展開に持ち込み、このセットを先取する。

第2セット大船渡・第一は前セット終盤から調子を上げてきた3番高橋、4番吉田の高さとパワーのある2人にボールを集め、中盤まで互角の展開を見せる。しかし、雫石は6番横手の速攻やサーブが効果的に決まり、粘る大船渡・第一から徐々にリードを広げる。最後まで3番セッター村田の丁寧なトスからコンビバレーを展開した雫石が25点目をブロックで決め、本大会2年連続の優勝を手にした。

※7～19行にまとめること

戦評者 及 川 晃 弘

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会

戦 評

大会名	平成26年度第22回岩手県中学校春季バレーボール大会
-----	----------------------------

男子決勝

会場； 八幡平市総合運動公園体育館

主審； 塩 井 和 幸

副審； 山 根 寿

金ヶ崎 2 { 28 - 26
25 - 17 } 0 見前南

試合時間 時間 5 2分

戦 評

第1セット序盤、見前南は1番只野や4番吉田のスパイクで4点をリードする。金ヶ崎は6番畠山のサーブで相手レシーブを崩し、5番伊藤のスパイクで連続5点を取り逆転する。その後も互いに譲らず一進一退の攻防が続きデュースまでもつれ込む展開となった。最後、金ヶ崎は6番畠山のフェイントなどでポイントを取り第1セットを得た。

第2セットは、序盤見前南は7番小笠原のサービスポイントなどでリードした。しかし、金ヶ崎は2番武田や5番伊藤の強烈なスパイクで逆転し、その勢いのまま2セット目も得た。金ヶ崎は、選抜大会に続く優勝となった。

※7～19行にまとめること

戦評者 前 田 崇

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会